

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 乳児保育事業

戦略4

805万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

生後4か月児から受け入れる保育所を、12か所とし、入所の利便性を図ります。また、若柳川北保育所の保育室を改修し、乳児の受け入れを拡大します。



乳児保育の様子

児童虐待防止対策事業

戦略3

532万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、関係機関との連携、相談員3人体制で対応します。

また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し、要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図ります。

特定不妊治療費助成事業

戦略3

500万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の充実を図るため、医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療費を助成し、経済的負担を軽減します。

1年度あたりの助成回数は、申請1年度目は3回、2年度目以降は2回まで拡大しています。

(通算5年間で10回まで)

一時保育事業

1,430万円

戦略3

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、市内10か所の保育所で、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施します。

財源	県の負担額	370万円
	利用者の負担額	577万円
	市の負担額	483万円



一時保育受け入れの様子

拡 延長保育事業

189万円

戦略3

(担当：子育て支援課保育サービス係)


保護者の勤務形態の多様化に対応するため、これまでの午後6時30分から午後7時までの延長保育を拡充し、平成26年4月から、午前7時から午前7時30分までの延長保育も行います。



延長保育受け入れの様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域子育て支援センター運営事業

戦略3 1, 574万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルの育成支援等を行うセンターを市内9地区で行います。

財源	県の負担額	390万円
	市の負担額	1, 184万円

子育て応援医療費助成事業

戦略3 2億2, 762万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

乳幼児、小学生、中学生の適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療による自己負担額を助成します。

平成25年10月からは所得制限を撤廃し、現物給付での助成を行い、すべての世帯で県内での子どもの医療費窓口負担をゼロにしています。

財源	県の負担額	4, 448万円
	市の負担額	1億8, 314万円

すこやか子育て支援金支給事業

戦略3 2, 500万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給します。

また、平成25年度から入学祝金の支給要件を拡大し、小学校入学の6か月以上前に住民登録している場合にも支給しています。

■出生祝金	第1子、第2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
	■入学祝金	第3子以降

放課後児童クラブ等運営事業

戦略3 9, 424万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施します。

財源	県の負担額	2, 513万円
	利用者の負担額	1, 825万円
	市の負担額	5, 086万円

一迫公民館児童室建設事業

戦略3 8, 053万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

施設の拡大と、一迫小学校からの移動時の安全確保のため、小学校の敷地内に一迫公民館児童室を建設します。

財源	市の負担額	8, 053万円
	(うち市債[借入金])	7, 590万円

母子保健健康診査事業 6, 733万円

戦略3 (担当：健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、引き続き妊婦一般健康診査14回の助成を行います。



また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの疾病の有無や、成長発達の確認、育児の相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行います。



乳幼児健診風景

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

任意予防接種事業 8,322万円

戦略3 (担当：健康推進課健康推進係)

ロタウイルス、おたふくかぜ、水痘、インフルエンザの4種の任意予防接種について、中学生まで全額助成し、予防接種を受けやすい環境を作り、感染性疾患の蔓延を防ぎます。

肺がんCT検診事業 781万円

(担当：健康推進課健康推進係)

初期肺がんの発見率の高い肺がんCT検診を実施します。

歯と口腔の健康づくり推進事業

22万円

(担当：健康推進課保健指導係)

市民のより一層の健康増進を目的とした「栗原市歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

平成26年度は、各分野の方から意見をいただき、基本計画を策定します。

障害者地域生活支援事業

9,851万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

財源 国・県の負担額 3,388万円 市の負担額 6,463万円

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行います。

日中一時支援事業

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行います。

日常生活用具給付等事業

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具を給付、貸与します。

相談支援事業

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障害者の自動車運転免許の取得費用、自動車を改造する費用を助成します。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者が外出する際の支援を行います。





就労支援セミナーの様子



就労支援事業所による販売

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

健康診査事業

1億9,510万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康管理に対する支援として、健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等を行います。

また、がん検診推進事業として、対象年齢の方等に無料クーポン券を配布します。

財源	国の負担額	298万円
	県の負担額	385万円
	利用者の負担額	2,632万円
	後期高齢者医療広域連合の負担額	1,604万円
	市の負担額	1億4,591万円



検診風景

いのちを守る総合対策事業

1億266万円

(担当：社会福祉課社会福祉係・健康推進課保健指導係)



栗原市自殺防止キャンペーンの様子

自殺防止について広く市民に啓発し、自殺防止への関心を高めるため、自殺防止キャンペーンや自殺防止講演会を実施するとともに、多重債務電話相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策にも取り組みます。

また、小中学生等を対象とした金融教育の普及啓発事業も継続します。

住宅支援給付事業

34万円



(担当：社会福祉課生活保護係)

離職により、住居等を失うおそれのある方に対し、家賃を一定の期間支給するとともに、就労支援をし、経済的自立に向けた支援を行います。

財源	国の負担額	34万円
----	-------	------

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

あったかトイレ整備事業

2億6,999万円

(担当：社会福祉課社会福祉係・市民協働課市民協働男女参画係)

高齢者の利用が多い公共施設等のトイレの洋式化と温水洗浄便器の整備を行い、高齢者等が安心して快適な社会活動を行うことができるとともに、衛生面での向上が図られます。



温水洗浄便座

公共施設：146施設、519か所
地区所有集会施設：66施設、66か所

高齢者生きがい健康づくり等事業

戦略6

7,278万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

在宅の高齢者が、生きがいを持ち、いつまでも健康で生活できるように各種福祉サービスを提供し、高齢者の支援を行います。

生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス（タクシー利用助成）、食の自立支援（宅配給食サービス）、緊急通報体制等整備事業など10事業を実施します。

財源 利用者の負担額 1,453万円 市の負担額 5,825万円



生きがい活動支援通所事業の様子

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業

718万円

戦略2

(担当：産業戦略課商工振興係・6次産業推進室6次産業推進係)

“栗原市”の認知度向上、特産品の競争力強化、地域ブランドの確立を図るため、市内の地域資源を対象とする栗原ブランドを構築するとともに、インターネット等を活用した「独自の直売ルートの開拓」や、各分野の事業者が連携した「新たな商品開発」を支援し、栗原の魅力と併せて商品を全国へ発信します。



くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2,120万円

戦略3

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりの強化を目的として、市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入する場合や自家保留する場合に対し助成します。

また、産肉能力の高い茂洋産子しげひろ、好平茂産子よしひらしげの場合には、加算して助成します。

森林整備・保全事業

1億2,720万円

(担当：農林振興課林業振興係)

林道の開設・整備や民有林への植林に対する助成、森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発等を行います。

財源	県の負担額	918万円
	市の負担額	11,802万円
	(うち市債[借入金])	7,620万円



一迫 不動西地区

園芸用ハウス整備支援事業

500万円

戦略3

(担当：畜産園芸課園芸振興係)



施設園芸農業の振興を推進するため、園芸用ハウスの新設や、利用されていない中古ハウスの再生に対して支援します。



パイプハウスでの野菜栽培

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

ほ場整備事業 6, 361万円

(担当：農村整備課計画調整係)

築館沖富地区や瀬峰上富地区など市内13地区で、ほ場整備を行います。



道路・用排水路・大区画のほ場が整備された沖富地区

6次産業推進事業 2, 243万円

戦略1

(担当：6次産業推進室6次産業推進係)

講演会や研修会を開催し、6次産業化を啓発するとともに、商品開発研究会を設置し、市内食材を活用した新たな商品の提案を行います。

また、農林漁業者の6次産業化に向けた商品開発や施設整備、広告宣伝経費の1/2を助成するなどの支援を行います。

- ・商品開発等：上限100万円
- ・施設整備等：上限500万円
- ・広告宣伝等：上限100万円

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

企業立地投資奨励金 3億2, 535万円

戦略2

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の10～20%を助成します。

企業立地促進奨励金 1, 843万円

戦略2

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額の2/3～全額を3年間助成します。

雇用促進奨励金

戦略2

500万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成します。

(担当：産業戦略課企業戦略係)

雇用拡大奨励金 3, 000万円

戦略2

(担当：産業戦略課商工振興係)

若者定住と市内企業等への人材を確保するため、新規学卒者等(高校・大学等卒業後3年以内で市内に住所を有する者)を雇用した市内企業に対し、1人あたり20万円を助成します。



就職希望の高校生と市内企業の出合いの場「くりはらジョブ・フェア2013-秋」の様子

中小企業振興資金

戦略2

(担当：産業戦略課商工振興係)

3億5, 300万円

中小企業者の経営の合理化と健全な発展と安定を図るため、融資のあっせんを行います。

また、保証料の全額と、利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を助成します。

【制度概要】

融資制度

- ・融資限度額：2,000万円
- ・償還年限：設備資金10年、運転資金7年

保証料補給事業



- ・融資に係る保証料の全額を補給

利子補給補助

- ・融資に係る利子額の1/2を補助(2年間)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

新産業創出支援事業

500万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などと連携した新製品の研究・開発に対して助成します。

(榊北光が開発中の高輝度メタリック塗装のサンプル)



大学連携事業

574万円

戦略3

(担当：企画課企画係)

先端技術の活用と地域のつながりを高めることで、温暖化による環境の変化に対応できる活力ある地域づくりを目指し、将来的な気候変動の影響と適応策を検討する慶應義塾大学の「グリーン社会ICTライフインフラ」研究プロジェクトに共同で取り組みます。

【研究内容】

- 先端の情報通信技術によりエネルギー消費情報を測定し、効率的に利用することで電力需要のピークをカットする研究
- 地域のつながりを強くし市民同士で健康度を高め、疾病予防を図る研究
- 温暖化を前提として効率的な農業を行うための研究



集会施設を拠点とした健康サロンの様子

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

オーロラ大使派遣事業

375万円

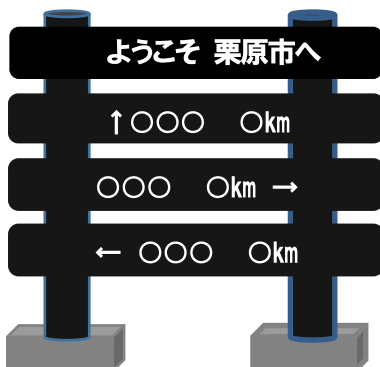
戦略1

(担当：市民協働課地域振興係)

市内高校生を対象に、スウェーデンでのホームステイ体験や現地高校生との交流を行います。異文化を理解し、互いの生活環境の違いを認めながら共生できる青少年の育成、更には国際的視野を持つ、地域の発展に寄与できる人材を育成します。



現地高校での交流



観光案内看板整備事業

1,620万円

戦略1



(担当：田園観光課観光企画係)

観光客の利便性の向上とイメージアップを図るため、デザインや規格を統一し、景観に配慮した観光案内看板を設置します。

観光案内看板のイメージ

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはらドリームアンバサダー事業 327万円

戦略1

(担当：市政情報課広報広聴係)

市にゆかりのある著名人等をドリームアンバサダーに委嘱し、市の情報のPRや市の活性化に向けた提言、市主催事業への協力をいただき、くりはらの魅力を全国に発信します。

市出身の宮藤官九郎さんにアンバサダーを委嘱



台湾南投市との国際交流事業

1,115万円

戦略1

(担当：市民協働課地域振興係・危機対策課防災係・田園観光課観光企画係)

台湾中部大地震の被災地である台湾南投市と共同で、被災経験を教訓とした防災研修を実施することで、相互の災害対策の向上を目指します。

また、崩落地形を新たな観光資源として活用する栗駒山麓ジオパーク構想を進めるにあたり、すでに被災地を観光拠点として活用している台湾南投市との交流を進めることで、観光産業の推進を目指すとともに、子どもたちを交えた自治体間の相互交流を推進します。

定住促進事業

3,813万円

戦略3

(担当：定住促進室定住促進係)

住まいる栗原ホームサーチ事業(空き家バンク制度)・空き家リフォーム助成事業

空き家の賃貸、売買を希望する所有者からの申込みを受け、市が空き家の登録情報をホームページで公開して、市内に居住したい方に提供します。

また、ホームサーチ事業を利用して空き家を購入または3年以上賃借し、市外から転入する方に対して、入居する空き家のリフォーム工事費の1/2(上限40万円)を助成します。

若者定住促進助成事業

市内に住宅を新築または購入し、市外から転入した40歳以下の方に、金融機関等からの借入金残高の5%に相当する額(上限年20万円)を最長5年間助成します。

新婚生活応援家賃助成事業

市内の民間賃貸住宅に入居する夫婦ともに40歳以下の新婚世帯で、家賃負担額が月額3万円超の方に対し、上限月額1万円を最長2年間助成します。

婚活促進事業

未婚化・晩婚化への対応として、市主催による婚活イベントの実施や、婚活イベントを自主開催する団体への助成(補助率1/2、上限30万円)、独身の男女の仲をサポートする「くりはら婚活プランナー」の認定などを行います。

くりはら婚活プランナーに認定証を交付

